



インフルエンザの流行について今後も感染が広がる心配もあります。閉鎖の有無に関わらず、体調不調の有無に関わらず、土日を含めて過ごし方にご注意をお願いします。

「子ども達に伝えたいこと」 学校は閉鎖していても

子ども達がいなかったから余計に、「登校してきたら何を教えようか」と思いが巡ります。

トルコの地震のニュースを見ては

トルコの地震のニュースを見ては、東日本大震災があった種市の子子ども達にぜひ伝えなければと思います。亡くなった方が4万人を超えたというニュースもありました。被災した子どもも700万人を超え、そのなかでのたくさんの子が親を亡くし家を亡くして路上や学校などで寝泊まりしているとニュースを聞いては、大変だった東日本大震災の様子にも触れながら、話してあげなくてはと思います。

大雪が降った日には

また、大雪が降った日には、朝から除雪車が動いているところを見てはありがたいなあと思ひ、このことをぜひ子ども達にも「ありがたいねー」「そうだねー」と話したいものだと思います。ほかに、「雪かきしよう」と家を出てみたら、すでに新聞屋さんの足あとがあつて、頭がさがる思いをしたこと、「小学生が通るだろうと家の前の雪かきをしてくださっている通りに面した家の方々のこと」、・・・、学校に来るまでに目にしたそんな人々の話もしたいなと思いました。先生方は、子ども達が登校して来たら遅れている勉強をどう挽回しようか、そして、「こんなことも伝えたい」、「あんなことも取り組んでみたい」と準備を進めていました。

インフルエンザの流行で学級・学年閉鎖や学校閉鎖になり、ご心配をおかけしております。また、急な決定にもかかわらずご対応いただき、さらには、子ども達の家での過ごし方と体調管理にもご注意いただいております。感謝申し上げます。

先週の金曜日から5年生と2年2組の学級・学年閉鎖が行われ、それでも流行が収まらず、日曜日時点で、インフルエンザと風邪症状で登校を控えなければならない子がどの学年にもまたがって全体で40人を超える欠席が見込まれたため、月曜日と火曜日は全校の閉鎖をせざるを得ない状況でした。実際に月曜日は、それを上回る人数の罹患報告があり、その後、罹患が収まりつつある学級と罹患が増え続けている学級があつて、収まりつつある学級から順に閉鎖を解除してきたところです。

平日・土日によらず、子ども達の体調の変化・罹患についてご報告もいただいていることから、学校の判断や今後の見通しを立てることが出来ます。今後とも、罹患についての報告と、このあとの土日を含めたおうちの暮らし方の指導について、よろしく願いいたします。

学習の遅れが心配されます 今、学習の進め方を検討しています。

～検討の途中ですが、検討している内容をお知らせします～

学校では、台風やコロナ、インフルエンザなどのために休校になったときに備えて、1年間の授業時間や日数に余裕を持たせて多めに計画されています。今回の閉鎖で、「学習するべき内容が終わる」だけでなく、「定着させる(身に着ける)ための時間」もとれるかということを検討しています。多くの学級・学年では、終われるという見通しですが、今後、時間が不足しそうな学年は

- ・金曜日の5時間授業で帰る日に6時間目の授業を行う
- ・お楽しみ会など学年末の行事にかかる時間を縮小して学習にあてる
- ・練習の時間や実習の時間などの効果をあげるために担任外教員も指導に入る

などの対策をとります。

それでも足りない学級・学年は、おうちの方のご理解もいただいて、春休みに入ってから、補充の授業も考えていきます。

見通しが立ちしだいお知らせしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

閉鎖があけて子ども達を待っていたのは… むかしばなし(図書委員会)

閉鎖になる前に、図書委員会が企画していたことがあったようです。それは、休み時間のビデオ上映。校庭がぬかっけていて遊べない日も多いことと、昔話に親しんでもらったらどうだろうということから、休み時間に図書室でビデオの上映会を開くということで、今週行う予定だったものが閉鎖でできなくなってしまいました。閉鎖が解けた学年から3密を避けるために、学年ごとに会場を分けて行われました。

「もっと見たい!」という声がたくさん聞かれました。図書委員会に感謝したいです。上映会は来週も行われます。閉鎖が続いている学級も登校できしだいみてほしいと思います。



上映前に説明する図書委員長の上大澤佑奈さん



図書室で「じゅげむ」のお話に見入る1年生

「あいさつ・そうじ・ボランティア」 縦割り班長から

2月7日の全校朝会で掃除担当の柳杭田知恵子先生から、掃除の様子について紹介がありました。縦割り班掃除の班長さんから聞いたことの紹介でした。

5班 舘野心愛班長から
2年生の三浦詩奈さんが雑巾が黒くなるくらい丁寧に掃除をしていました。

12班 上野朱里班長から
2年生の川戸友結さんや1年生の黒坂壮さんが「何をやらせたい?」と自分から聞いてくれます。

19班 大道瑚夏班長から
4年生の横手クリアさんが欠席した子の仕事を自分から引き受けてくれました。

リーダー達に伝えておきたいこと ~先立ちとして考えるべきこと~

再度お話ししました

2月6日(月)に児童総会が行われました。児童会の執行部、委員会はそれぞれの活動のリーダーとして役目を果たしてきましたし、各学級もそれに協力したり独自の取り組みをしたりしてきました。1年間のまとめに、来年度に引継ぎ意識してほしいことを話しました。昨年度の総会でも話したことでした。



みなさんは、学校のリーダー、古い言い方では「先立ち(さきだち)」といいますが、その「先立ち」には、考えてほしいことがあります。それは、「**どれだけたくさんの人に参加してもらえるか**」ということを考えるということです。体育館の後ろの学習発表会ときの「がんばりを見つける取り組み」ではあんなにたくさんの人が参加してくれました。今回のあいさつの取り組みでも、シールを貼る花が1つでは足りなくなって2つ目をつくりました。このように、先立ち(リーダー)として考えるべきことは、「自分たちでやる」だけでなく、「**どれだけたくさんの人に参加してもらえるか**」を考えることです。そうやっていくことが、この種市小学校によりことが広がっていくこととなります。